

東京や大阪のベンチャー企業が次々とサテライトオフィスを開設し、若者の移住者が増え、おしゃれなお店もオープンする四国の右下にある小さな町。今、美波町が地方創生の先進地として全国からの熱い視線を集めていることをご存じですか？この動きをさらに広げるために定められたのが、「美波ふるさと創造戦略」。

「美波 地方創生だより」では、「それ何？」「どうして？どうやって？」「今どうなってるの？」という情報を追いかけて、毎月お届けします。

「美波ふるさと創造戦略」とは？

美波町が2015年～2019年の5カ年計画で取り組む地方創生プランです。人口減少の抑制・地域の活性化に向けて、美波ふるさと創造戦略では、以下の4つの基本目標を定め、計画的・総合的に取り組んでいきます。

■みなみへの人の流れづくり

人口流出の抑制と、流入の拡大を目指す

■みなみの資源を活かした仕事づくり

既存の産業を拡充するとともに、新たな仕事を創出する

■みなみの子育て環境づくり

結婚、出産、子育てがしやすい町づくり

■みなみの人がつくる、個性ある住みよい地域づくり

伊座利地区の取り組みをはじめ、地域の人々が主体となった個性的な取り組みの推進

※詳しくは、美波町ホームページなどで「美波町総合戦略」をご覧ください。

地方創生、なぜ必要なの？

少子化と首都圏への流出によるダブルの人口減少で、地方は急激に衰退しています。一方、東京都の合計特殊出生率の低さに表れているように、首都圏に集まった若者は少産化が進み、日本の人口減少に拍車をかけています。

このままの状態が続けば、美波町も日本も維持継続が危ぶまれる状況になっています。

	2015年人口	2060年予想人口※
日本	1億2,711万人	8,674万人
美波町	7,101人	1,924人

※2060年予想人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠した推計人口

この状態に歯止めをかけるための、国を挙げての取り組みが「地方創生」です。

美波町では「美波ふるさと創造戦略」を中核に人口減少対策に取り組み、2060年の町人口を4,000人～4,300人に維持することを目指します。

【結び】

人口問題は一朝一夕では解決しません。この素晴らしい美波町がいつまでも存続するためには、美波町に関わるすべての人が主人公となって粘り強く取り組む必要があります。

例えば、都会に出ている子どもたちに「帰っておいで」と声をかける。例えば、小さな子どもたちには美波町の素晴らしさを教え伝える。例えば、移住者のために空き家情報を提供する。

そんな小さな行動の積み重ねが美波町の地方創生を成功に導きます。

町を挙げての施策に、町民の皆様と一丸となって取り組んでいきたいと考えています。